

4. 看護行事

(1) 看護の日記念行事

ナイチンゲールが生誕した5月12日（看護の日）にちなんで、5月8日～14日の7日間、「看護の日・看護週間」記念行事を開催し、患者及び家族、一般の方に看護に気軽にふれていただいた。

- 1) 白衣の変遷 看護部より、写真による白衣の変遷と、明治・大正・昭和時代の白衣を5月8日～14日の間、正面玄関エントランスホールに展示した。
- 2) 作品展示 入院生活で感じたことの俳句や川柳、詩、似顔絵などを募集した。患者や家族から23作品と、院内学級（大阪府立刀根山支援学校）の生徒から作品の提供があり、5月8日～14日の間、正面玄関エントランスホールに展示した。また、地域住民や協力者からの作品の展示も同時に行った。
- 3) ふれあい看護体験 日本看護協会主催のふれあい看護体験として、5名の高校生を受け入れた。午前には手指衛生の演習など感染対策の講習の後、病棟での看護体験として、看護師の指導の下に血圧測定、車椅子による移送介助、清拭、足浴、配膳などを行った。昼食には病院食を試食し、午後から外来やベッドセンター、ドクターヘリなど院内の見学を行った。参加者から、「看護師の患者さんや家族とのコミュニケーションの取り方に驚いた。」、「看護師には技術だけでなく、コミュニケーション能力も必要だと思った。」、「すごく大変な職業だなと改めて思った。」、「患者さんを安心させてあげられるような看護師さんばかりで、私もそんな看護師さんになれたらいいなと思った。」、「病棟毎に雰囲気が違って、様々な工夫がされていた。」などの感想が寄せられた。

〈看護体験スケジュール〉

時間	項目
8:50～	白衣に更衣
9:00～	オリエンテーション
9:10～	手洗い演習などの感染対策講習
10:00～	病棟での看護体験
12:30～	昼食として病院食の試食
14:00～	院内見学（外来、ドクターヘリ、ベッドセンターなど）
15:00～	ミーティング、アンケート記入
15:30～	看護部長より「参加証」授与
16:45	更衣後終了



体験の様子

5. 阪大病院フォーラム

本院は、先進医療推進など特定機能病院としての役割はもとより、地域の中核病院としての役割も果たしている。このような状況において、本院がより一層の発展をするためには、重要なトピックスや取組み等について関係者に広く情報を提供し、意見を交換し、多くの理解と支援を得ることが肝要と考える。このため、その時々トピックスを中心にしたフォーラムを平成14年度から開催しており、病院内外から多数の人が参加している。

令和元年度開催分

開催回 年月日	テーマ・主な内容
第195回 令和元年 5月15日	(救急医療) 「G20大阪サミット救急医療体制における本院の役割」 高度救命救急センター センター長 嶋津 岳士 特任助教 酒井 智彦 助教 入澤 太郎
第196回 令和元年 5月28日	(移植医療) 「阪大病院 移植医療部の取り組み」 移植医療部の紹介 移植医療部／小児成育外科 教授 奥山 宏臣 臓器提供について（ドナー側） 高度救命救急センター 助教 吉矢 和久 高度救命救急センター 看護師長 中土居 智子 移植について（レシピエント側） 心臓血管外科准教授 戸田 宏一 移植医療部看護師長 萩原 邦子